

科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職（社会福祉士必修）		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2022年度前期	単位数	2
担当教員	木村 淳也		
内容および計画	<p>[授業のねらい]</p> <p>① 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。 ② ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。 ③ ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p> <p>[授業の概要]</p> <p>本講義では、ソーシャルワークに関連する専門職の価値、倫理をはじめとして、相談援助に関する基盤について学ぶ。さまざまな援助の進め方、かかわり方の基盤となる専門的援助技術の体系を本講義で学び、クライアントに適切にかかわる方法を選択する力を育む。</p>		
1	人々の暮らしとソーシャルワーク		
2	社会福祉士・精神保健福祉士の法的な位置づけ		
3	ソーシャルワークの定義		
4	ソーシャルワークの構成要素		
5	ソーシャルワークの形成過程①		
6	ソーシャルワークの形成過程②		
7	ソーシャルワークの基盤となる考え方① ソーシャルワークにおける価値		
8	ソーシャルワークの基盤となる考え方② 個人的・専門職的価値の調和		
9	ソーシャルワークの基盤となる考え方③ 人権尊重と社会正義		
10	ソーシャルワークの基盤となる考え方④ 人権侵害と権利擁護		
11	ソーシャルワークの基盤となる考え方⑤ クライアントの自己決定と自立支援		
12	ソーシャルワークの基盤となる考え方⑥ ノーマライゼーションと社会的包摂		
13	ソーシャルワークの倫理① 専門職倫理の概念と意義		
14	ソーシャルワークの倫理② ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマ		
15	まとめ		
教科書			
タイトル	著者名	出版社	ISBN
『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職[共通・社会専門]』	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟＝編集	中央法規出版	978-4-8058-8241-2
参考書	<p>「知りたい、ソーシャルワーカーの仕事」、岩波ブックレット、2015</p> <p>「ソーシャルワーカーのジレンマ」、生活書院、2015</p> <p>「ソーシャルワーカーのソダチ」、生活書院、2017</p> <p>「ソーシャルワーク論ー理論と方法の基礎ー」、ミネルヴァ書房、2021</p>		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
授業内ミニレポート		20	
期末レポート		80	

学習到達目標	<p>① 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて説明できる。</p> <p>② ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について説明できる。</p> <p>③ ソーシャルワークの価値規範と倫理について説明できる。</p>
先修条件	
実務経験	<p>実務経験有り：</p> <p>福島県教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー</p> <p>本宮市教育委員会 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー</p> <p>等、相談援助業務の経験を活かしソーシャルワーク関連科目を担当している。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞などで身近な福祉に関する課題について知識を得るよう心がけてください。 ・授業では自分の意見を大切にすると共に、他者の意見も大切にしよう心がけてください。 ・参考資料、配布資料等を用いて、復習、予習を心がけてください。